



メロン、丸い形は地球に見える?メロンのようにおいしく、その表面の網目のように  
緻密なネットワークを広げる月刊情報誌をめざします!

巻頭	2022年度の事業について …… 1	カレンダー	2022年04月のcomm cafeランチカレンダー …… 5
紹介	市内の国際交流団体の紹介(3) -様々な交流活動 …… 2	お知らせ	協会・他団体からのお知らせ …… 6
報告	ボランティア活動を通して得た『共生』のヒント …… 4	編集後記	…… 8

## 2022年度の事業について

～コロナ禍での地域の変化に対応して、新しい歩みを進めるために～



コロナ禍が始まってから2年が経ちました。この間、協会は日本語教室や語学講座をオンラインに切り替え、comm cafeではランチの営業をお弁当販売に切り替えるなど、いろいろな形で取り組みを続けてきました。そのなかで見えてきた新しい可能性もいろいろあります。しかし、人と人が直接に会い、表情や空気を感じながらコミュニケーションをする機会がとても少なくなりましたこの間に、失われてしまったものがあることも、ひしひしと感じています。2年前とは大きく変わった世界のなかで、私たちがなすべきことは何なのか、もう一度、しっかりと見つめ直す年にしていきます。

その意味で2022年度は、あらためて『外国にルーツを持つ子どものサポート事業』と『多言語による生活相談事業』に重点的に取り組んでいきます。

例えば、子ども事業では遠足や夏休みの多文化ユースサマーキャンプなどを通して、子ども同士、またボランティアやス



タッフとの関係をつくることができなくなりました。また、子どもたちが多く集まっていた土曜日の多文化交流センターでは、これまで「T.E.S.にほんご」による日本語教室やcomm cafeのランチなどで多様な人たちの賑わいがあり、その状況そのものが来館する子どもたちに、ちがいを自然なこととして受け入れるという環境を提供していました。しかし、今はオンライン化やテイクアウト営業により、センターに来てても閑散としています。これまでのような活気のある場とはなりにくのが実情で、「外国にルーツを持つ子どもサポート事業」に子どもたちが集まるのも難しい状況になっています。

また、協会の相談事業では「相談に来た人」に対応するだけではなく、潜在的な相談ニーズに対応するために、日本語教室やイベントなどの機会を通して協会の取り組みの周知を進めると同時に、学校の先生たちや地域のソーシャルワーカーなど、地域の人たちとの連携によって課題を抱えている人と繋がることを重視してきました。しかし、コロナ禍の長期化によってこうした動きも以前のように行いにくくなっています。

この状況をどうすればよいのか。コロナ禍は継続して

発行・差出人：公益財団法人箕面市国際交流協会 (MAFGA)

〒562-0032 大阪府箕面市小野原西5-2-36 箕面市立多文化交流センター内

Tel : 072-727-6912 Fax : 072-727-6920 E-mail : info@mafga.or.jp HP : www.mafga.or.jp

賛助会員数：285名 法人会員数：28団体 (2022年3月21日現在)

おり、今までと同じやり方では難しい面もあります。しかし、本来私たちが大切にしてきたこのミッションにもう一度しっかりと取り組む必要があります。まずは子どもや相談事業を中心に、まだ聞かれていない小さな声やつぶやきを丁寧に拾っていくことに、あらためて取り組みます。

第二に、ボランティア・グループの自律的な活動を支える環境づくりについてです。協会の事業の多くは市民ボランティアが担っています。カフェの運営や小学校多文化理解プログラムなどは、多くの外国人市民に支えられています。また、地域の国際化を担う様々な市民グループが活動しています。これは地域にとってのかけがえのない財産です。

こうした市民のボランティア活動を支えるための環境整備に取り組むたいと考えています。春と秋のボランティア・セミナーでは協会スタッフやボランティアが講師として、一般論ではなく私たちのコミュニティの課題やミッションを共有する取り組みを進めます。また昨年度から始めた演劇を取り入れたワークショップ型研修『フォーラム・シアター』（年4回開催）を今年度も継続し、対立や葛藤に向き合って対話することのできるコミュニティづくりに取り組み続けます。さらに、comm cafe と阪大箕面キャンパスに設置した mafga × 阪大の協働スペースをボランティア・グループやシェフ、

市民団体による実験的な取り組みに開いていく試み、クラウドファンディングを活用したシェフ等による自主企画の応援、などにより自主的、自律的な活動の条件整備を進めます。

第三に、2022年度は1992年6月に協会が設立されてから30年目にあたります。これを記念して3つの事業を計画しています。①多文化共生に向かう地域の現状と課題について関係者に取材した記録映像の制作。②市民、ボランティア、地域団体、外国人市民が協力してつくりあげる多民族フェスティバルの開催。③これからの協会の役割について考える記念式典と講演会の開催です。これらを通して、行政、地域の人々、ボランティア、外国人市民などこれまで協会を支えてきたすべての人々に感謝の気持ちを送るとともに、あらためて多文化共生社会に向けた地域での取り組みを広く市民に発信していきます。

また、2022年度は多文化交流センターが開館してから10年目の年にあたります。協会には、箕面市における多文化共生の取り組みを将来に向けて持続的に発展していくための新たな計画の提案が求められています。大きな環境の変化に対応しながら、そのなかで私たちのコミュニティにある小さな声が活かされるような事業づくりに、引き続き取り組んでいきます。（事業課長・河合）

## 市内の国際交流団体の紹介（3）-様々な交流活動

1980年代、まだ協会がない時代、箕面市にいくつかの市民の国際交流団体が生まれた。1979年に旧大阪外大が箕面に移転し、留学生が増えたことも刺激になったと思われる。当時、箕面市の外国人市民は、市人口の0.75%（1985年時点）。現在の約1/4という時代。1992年に当協会が設立された後、これら国際交流団体の数は減ったが、その中で今回紹介する「トッキの会」、「チャターボックス」は、今に至るまで活動が続いている。

### トッキの会（在日韓国・朝鮮人保護者の会）（代表者：若松千恵）

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 在日韓国・朝鮮人保護者・こどもの交流会</li> <li>● 人権セミナー等への講師派遣</li> <li>● 国際理解教育支援（主に市内小学校人権講演・授業への講師派遣）</li> <li>● みのお市民人権フォーラムへの参画・多民族フェスティバルへの参加</li> <li>● 料理講習会、ハングル講座</li> </ul>		
団体PR	1987年にトッキの会を設立し、約35年間にわたり様々な活動を行ってきました。在日韓国・朝鮮人のエンパワーメントとネットワーク作りを目指し、毎月1回程度、韓国料理を囲んで、今後の活動や、日々の生活、子どもの事、ルーツに関することなど様々な話題でミーティングをしています。		
ホームページ	なし	連絡先	tokki.since1987@gmail.com
主な活動場所	らいとぴあ21	活動頻度	1～2か月に1回（状況に応じて）
会費等	年会費はなし。 イベントごとに費用を集める。		

### 「トッキの会」について

「トッキ」とは韓国・朝鮮語で「うさぎ」のこと。会が発足した1987年がウサギ年（卯年）であったため、トッキの会と命名したという。来年2023年は卯年であり、「トッキの会」の36周年となる。会がスタートした当時は、国際交流協会はまだない時代で、韓国・朝鮮にルーツのある人たちにとって、何か問題があれば自分たちだけで解決しなければならなかった時

代である。学校での子どものいじめや、ルーツの文化に関する教育などについて保護者同士が話し合う中で「トッキの会」は生まれた。その後、保護者でない韓国・朝鮮ルーツの人も加わり、子どもの問題に限らず、定例的に自らのルーツに関する文化の話などしながら、料理を楽しむなどして、会合は続いた。

学校が休みの時は、交流会が開かれ、子どもたちも一緒に交流を楽しんだ。そのうち地域の日本人たちも加わるようになった。料理を教えたり、子どもたち相手にハンゲルを教えたりする活動も加わった。将来は成人相手のハンゲル講座も予定しているという。

この2年間はコロナのため、会合は大幅に減ったが、いずれにしろ35年も活動が続いてい ▲ 子どもハンゲル講座  
る実績それ自身が、「トッキの会」の存在意義を如実に示している。会員の瀧山裕美さんは長年続いているのは地域の人の協力のお蔭と語る。日本にとっての一番の隣国である韓国・朝鮮。日本の人も加わって、その言語や、食の文化ほか、諸々の文化に接し、体験し、話しあい、お互いに新たに生きる力を培う。10人位が集まる小さな活動であるが、今後も会員手作りの活動で新たな歴史が作られて行くであろう。



▲ 子どもハンゲル講座

チャターボックス (代表者：竹之下一利)			
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 主に阪大留学生との交流イベントの企画・運営 〈万博記念公園ピクニック、着物着付体験、日本料理体験、留学生の自国紹介（日本語で紹介、他にダンス、歌など）、西江寺の蟲供養への引率参加、多民族フェスティバル参加 など〉</li> <li>● 大阪大学留学生ホストファミリープログラムへの参加（ホームビジットのホスト斡旋）</li> </ul>		
団体PR	箕面市を中心に活動しています。幅広い年齢層で、家族のようにあたたかなグループです。ミーティングでは、皆積極的に意見を出し合い、イベントでは和気あいあいと楽しめます。国際交流に興味ある方、ぜひ一緒に活動しましょう。		
ホームページ	<a href="http://www.facebook.com/chatterbox8805">http://www.facebook.com/chatterbox8805</a>	連絡先	<a href="mailto:info_cb8805@googlegroups.com">info_cb8805@googlegroups.com</a>
主な活動場所	東生涯学習センター	活動頻度	1回/月程度
会費等	年会費 個人会員 2000円、夫婦会員 3000円、イベントごとに参加費徴収（留学生からも）		

## 「チャターボックス」について

チャターボックスは、1988年5月にスタートした。留学生との交流が主体の団体である。これまで1500人以上の留学生がチャターボックスの活動に参加した。日本のいい思い出作りになったであろう。最初は留学生とのおしゃべりの会であった。当協会はまだない時代であり、彼らの相談事にもこの会の場で対応したという。おしゃべりの会ということで「チャターボックス」(chatterbox=おしゃべりな人)と名付けられた。

万博記念公園へのピクニックほか、様々なイベントが毎年行われてきた。参加者が多いイベントの一つが西江寺が行う蟲供養〈毎回留学生10-20名位を引率〉。蟲供養は農作業で殺される大量の害虫を供養し、豊作への感謝を伝えるもの。引いては人間の生活が多くの生物の犠牲の上に成り立っていることへの供養も含まれるという。毎年10月に行われる。まさに日本独特の文化。お茶会なども併せて行われる。多くの留学生が興味を持つのももっともであり、こういう企画をすることでチャターボックスのユニークさがある。

この30数年の間に生じた大きな変化の一つがインターネットの発達。代表の竹之下さんは「最近の留学生はインターネットでいろいろな情報を集め、自分たちだけであちこちに行く。我々のイベントをそれらと如何に差別化するかが、課題になってきている」と話す。「イベントも大事だが、我々のベースは、あまり気負わず気軽に話しながら温かい時間を共有すること。無理に参加者を楽しませようとかではなく、一緒に楽しむことが大事な」と語る竹之下さん。人との温かいつながり。留学生にとっては大きな魅力に違いない。



▲万博公園へのピクニックの様子

当協会も様々な国際交流事業を行う。ただ、公的な機関であるから縛りはある。そういう協会の事業に乗っかっての交流も、それはそれであって良いが、一方、今回の両団体のように、市民ベースの発想で進める国際交流ももっとあっていい。協会はそういう活動を応援すべきであろう。市民、協会双方がそれぞれの発想で多様な国際交流活動を行う社会、それが豊かな共生社会に繋がると思う。(荻野)

# ボランティア活動を通して得た『共生』のヒント

箕面市国際交流協会とつながりを持った最初のきっかけは、大学の卒業論文研究だ。たまたま見つけたインターネット記事で協会の活動内容を知り、「ここで学びたい!」と考えた私は、勇気を出して協会事務局に手紙を送った。こうして協会での活動を通して、多文化共生をテーマにした卒業論文を執筆することになった。

ここでは私が協会でも活動する中で気づいたこと・学んだことをいくつか紹介したい。

## マジョリティの気づきの場

協会でもイベントに参加したり、ボランティア活動をする中で、「マジョリティの特権」というテーマにたびたび向き合う機会があった。「マジョリティの特権」とは、「ある社会集団に属していることで労なくして得ることのできる優位性」\*のこと。いわゆるマジョリティである日本人は、マイノリティが抱える苦しさから目を背けることができるという点で特権を持っているという考え方だ。私が初めてこの言葉を耳にしたのは、昨年(2021年)春に行われた多文化ボランティアセミナーであった。「マジョリティの特権」というテーマはそれ以降のセミナーでも毎回のように取り上げられており、また、めろん編集部の会議や誌面上でも話題にあがることが多い。その度にハッとさせられ、知らないうちに特権を振りかざしてしまっていないだろうかと考えさせられる。

協会では、地域の多文化共生を推進するという特性上、外国人市民を支える場所としての側面が注目されがちだ。しかし、それだけではなく協会に関わるマジョリティが自分自身を見つめ直す「気づきの場」として大きな役割を果たしているように思える。

## 議論すること

協会に関わる中で、最も強く実感したのは、結論の出ない問いに向き合うことの重要性だ。私が所属するめろん編集部の会議では、一人ひとりが抱えるモヤモヤを持ち寄り、話し合う機会がよくある。「一人ひとり多様な背景を持っているのに『外国人』と一括りにしてよいのだろうか」、「差別撤廃とはいうけれど、果たして本当に実現しうるのか」。結局どれだけ話し合っても明確な回答が出ることはほとんどなく、モヤモヤが解消されることは少ない。しかしこれらの問いに向き合い、考え、議論をする過程にこそ、大きな意味があるのではないかと思えるのだ。協会に足を運べば、国籍やルーツ、年齢の異なる様々な立場の人たちと出会い、そして意見を交わすことができる。安心して対話できる場所としての箕面市国際交流協会。これが私にとって居心地がよい理由の一つなのではないかと思う。

4月から社会人として、公務員として働く。様々な立場の方と関わる機会が多い職業ではあるが、活動を通して学んだ事を胸に、迷い悩むことをいとわずに前進してきたいと考えている。(中島)

\*マジョリティの特権について、詳しく知りたい方は、『真のダイバーシティをめざして-特権に無自覚なマジョリティのための社会的公正教育』(ダイアン・グッドマン著/出口真紀子監訳/上智大学出版/2017年)をおすすめする。

## 2022年度の賛助会員募集中!

賛助会員となって、箕面市国際交流協会を支えてください。

- ① 税額控除が受けられる個人寄付会員(3,000円)と、法人会員(10,000円)があります。
- ② インターネット上からクレジットカード決済での入会手続きが可能です。

胃腸科 内科 外科 肛門科 リハビリテーション科

### おざわクリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土
am9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
pm1:00~3:00(胃カメラ)	□	□	□	□	□	□
pm5:00~7:30	○	○	○	○	○	○

※診療開始 30分前から受付します。  
 ■胃カメラは予約制です。  
 ■休診日: 土曜日午後・木曜日・日曜日・祝日  
 ■http://ozawa-clinic.world.coocan.jp/  
 【住所】〒562-0023  
 箕面市粟生間谷西3-7-9 シャトー野間1F  
 阪急バス停留所「空の前」スーパーマルヤス向い  
 □無料駐車場 有

TEL: 072-730-0721

fairtrade shop & cafe



エスパーロ  
能勢  
espero nase

フェアトレード雑貨と古民家カフェ

豊能郡能勢町地黄 476

営業時間: 金~月 11:00 ~ 17:00

http://espero-osaka.com/

箕面市国際交流協会の  
多言語による生活相談窓口

電話 072-727-6912  
(日本語・英語)

メール soudan@mafga.or.jp

子育てや教育、仕事、医療、福祉、在留資格など、生活での悩みや困りごとに対応します。秘密厳守。相談は無料です。

日時: 火曜日から日曜日 9:00~17:00

受付方法: 来館、メール、電話

対応言語: 日本語、韓国語、朝鮮語、中国語、英語、ポルトガル語

場所: 箕面市立多文化交流センター

4月  
April



# comm cafe ランチカレンダー

コムカフェ

火～土

9:30 - 11:30 **朝カフェ**  
 11:30 - 14:00 **ランチタイム** \*売り切れ次第終了します  
 - フルメニュー ¥880  
 - 限定メニュー ¥770  
 14:00 - 17:00 **午後カフェ**

日・祝日 \*ランチはありません

10:00 - 13:00 **世界の朝ごはん** ¥660 (ドリンク付)

★箕面ふるさとカレンダー 2022 のテーマは「料理で世界旅行」  
 comm cafe のシェフによる「箕面産野菜を使った世界の一皿！」  
 毎月のシェフの日には、カレンダーのメニューが食べられます。

おしらせ

## イートイン再開します!

- コロナウイルス感染拡大防止対策のため、1グループで4名までご利用できます。
- マスク会食にご協力ください。

2022年4月から、毎週水曜日は店休日となります。現在、新しい活用方法を検討中ですので、しばらくお待ちください。

☒... スナック & スウィーツの日 ☑... カフェで開催するイベント

げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どようび	にちようび
				1 フランクリンさん 《キューバ》	2 ボルマーさん 《モンゴル》	3 世界の朝ごはん 《中国》 10:00 ~ 13:00
4 休館日	5 コズさん 《タイ》	6 店休日	7 フランクリンさん 《キューバ》	8 アスイエさん 《イラン》	9 李さん 《コリア》 <small>カレンダーメニュー</small>	10 世界の朝ごはん 《トルコ》 10:00 ~ 13:00
11 休館日	12 ジェニーさん 《アルメニア》 ☑ 9:30 ~ 11:00 メディアを通して知る現代韓国社会	13 店休日	14 アイリンさん 《イラン》	15 ☒ MAFGA スナック	16 山口さん 《中国》	17 世界の朝ごはん 《ペラルーシ》 10:00 ~ 13:00
18 休館日	19 いずみさん 《ベトナム》	20 店休日	21 ノックさん 《タイ》	22 洪さん 《コリア》	23 ニダルさん 《シリア》 <small>チャレンジカフェ</small>	24 貸切のためカフェは お休みです。 ☑ ① 9:30 ~ 12:30 ② 13:30 ~ 16:30 フォーラムシアター 2022
25 休館日	26 ノックさん 《タイ》 ☑ 9:30 ~ 11:00 メディアを通して知る現代韓国社会	27 店休日	28 アイリンさん 《イラン》	29 [祝日] ☒ MAFGA スナック	30 ホーさん 《香港》	

★コロナウイルス感染拡大防止のため変更になる場合があります。最新情報は、Facebook を確認ください。

- ベジタリアン、ハラル、アレルギー対応については、カフェのスタッフまでお気軽にお尋ねください。
- メニューやシェフは変わることもあります。また急きょ、協会主催事業により貸切になることもあります。
- 詳細は、Facebook をご覧ください。 <https://www.facebook.com/mafgachallengecafe>



# 国際交流協会 (MAFGA) からのお知らせ

下記についての問合せ・申込みは (公財) 箕面市国際交流協会まで ※開催場所: 箕面市立多文化交流センター

☎: **072-727-6912** FAX: **072-727-6920** ✉: **info@mafga.or.jp**

イベントの内容が変更、延期、または中止になる可能性があります。最新情報は協会 HP を確認ください。www.mafga.or.jp

## イベント情報

### 読書会

### Sunday Book Review

4/17 (日)  
14:00 ~ 16:00

英語の原書を一緒に読みましょう!  
読む本: The Remains of the Day / 日の名残り  
著者: Kazuo Ishiguro / カズオ イシグロ

場所: 講座室  
参加費: 300円 + ドリンク代  
申込み: 初参加の場合要申込

### 上映会

### みのお cinema 上映会

4/19 (火)  
13:30 ~ 16:30

毎月1本、視点を豊かにする映画を上映  
【上映作品】ミッドナイト・トラベラー  
87分 / アメリカ・カタール・カナダ・イギリス / 2019年  
アフガニスタンからヨーロッパまで5600km。安住の地を求めて旅する難民家族が3台のスマホで自らの旅を撮影した前代未聞のセルフドキュメンタリー! ★上映会後に感想交流会あり。

定員: 20名 (要申込)  
場所: 講座室  
参加費: 一般700円、  
賛助会員・大学生以下 無料

### イベント

### キューズモール x comm cafe 食でつながる、このひと、この世界

4/27 (水)  
① 10:30 ~  
② 13:30 ~

メキシコの食文化、メキシコで過ごした生活について。  
◎セキ・ロクサナ (メキシコ出身) コーディネーター: 崔聖子

定員: 各5名 (要申込)  
場所: みのおキューズモール  
Center2F キューズリビング  
参加費: 無料

### イベント

### メディアを通して知る現代韓国社会

4/12 (火)・26 (火)  
9:30~11:00  
(全6回)

韓国のドラマや音楽、文学を通して、現代韓国社会の言語・背景・食文化・観光について知り、考える。1回のみ参加可  
全6回 4/12・26、5/10・24、6/7・21 火曜日 9:30 ~ 11:00  
◎イ・ウジュン (国際青少年メディアプレス)  
鳥羽山良平 (協会職員)

定員: 20名 (要申込)  
場所: コムカフェ  
参加費: 一般1000円/回、  
協会会員700円/回  
6回申込の場合…  
一般5000円、協会会員4000円

### イベント

### フォーラムシアター 2022 日常の中の多様性

4/24 (日)  
① 9:30-12:30  
② 13:30-16:30

演劇型ワークショップの中で生み出される対話から問題解決を探るプログラム。◎内山唯日 (多様性教育ファシリテーター・日本語講師)  
① 寸劇の台本作り  
② 寸劇披露・鑑賞、意見交換と実践  
※今年度から2022年度ボランティアセミナーの一環として実施。

定員: ①5名、②10名 (要申込)  
場所: コムカフェ  
参加費: 賛助会員・学生 無料  
それ以外 3,000円  
\*詳しくは同封のチラシ参照

### セミナー

### 春の多文化ボランティアセミナー

5/14 (土)  
14:00-16:00

◎講演「国際交流協会の事業のあれこれ聞いちゃおう」  
一部: 協会職員による事業紹介  
二部: グループに分かれて意見交換会

定員: 40名  
場所: 講座室  
参加費: 一般全日程1,100円、  
1日550円、会員無料  
一時保育: 1歳6ヶ月以上就学前、  
保育代100円 (定員3名、申込順)  
受付締切は各開催日の7日前

5/21 (土)  
14:00-17:00

◎パネルトーク「ボランティア活動の真髄を語る」  
一部: ボランティアと外国人市民によるパネルトーク  
二部: ボランティアグループ紹介

## 唐木幸子バレエスタジオ ~箕面の地で40年の歴史~

\*バレエコース: 「ロシア国立ペルミバレエ学校日本校」のバレエ教授法取得証明書(Dipolma)や、日本徒手療法師会より「徒手療法師」の資格認定を与えられた姿勢調整師でもある指導者が、丁寧に分かりやすく指導致します。「バレエは芸術」として長く続けられるように、また中高生には学業と両立できるよう配慮しています。3才~80才位の年齢層まで、目的に合わせて気軽に楽しく始められます。

\*健康コース: 徒手療法師の資格を持ったバレエ指導者(姿勢科学士)が健康維持を目的とした姿勢調整を致します。



〒562-0041 箕面市桜 4-1-24 阪急牧落駅西側右斜め前 (駅より30M)  
072-721-6300 / 721-2576 <http://www.karaki-sachiko-ballet.com/>

(公社) 日本バレエ協会会員・AODT会員



## 他団体からのお知らせ

問合せ・申込みはそれぞれの各団体へお願いします。  
 コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントの内容が変更、延期、または中止になる可能性があります。

### 講演会

4/2 (土)  
14:00-16:00

### ウクライナ緊急支援講演会 ～ウクライナの現状について～

多くの市民の犠牲者が生まれている現在のウクライナの状況や国際社会の働きかけの大切さを知り、今、私たちにできることを考える。  
 ◎小野元裕 (日本ウクライナ文化交流協会会長)

場所 : 豊中市立中央公民館 3F  
(豊中市曽根東町 3-7-3)


参加費 : 無料  
 定員 : 会場 30名、オンライン 30名  
 問合せ : 国際交流の会とよなか TIFA  
 06-6840-1014

### 上映会

4/3 (日)  
14:00-16:00

### みのお cinemo 上映会 @みのお市民活動センター

【上映作品】「台北 カフェ・ストーリー」81分/台湾/2010年制作  
 \オプション企画/本の交換会 映画のキーワードの「物々交換」にちなんで、上映会終了後 16 時頃から本の交換会あり!

場所 : みのお市民活動センター  
 参加費 : 700 円 (学生、フォーラム  
 みのおの会員は無料)   
 定員 : 15 名  
 申込 : 市民活動フォーラムみのお  
 072-722-2666


### みんぱく

4/10 (日)  
14:30-

### みんぱくウィークエンドサロン 研究者と話そう

### モンゴルの“民族衣装”の 100 年前と今

素朴なモンゴルの“民族衣装”デールは実は「人民服」だった?!  
 写真とともにモンゴル衣装の 100 年を見る。  
 ◎島村一平 (国立民族学博物館准教授)

場所 : 国立民族学博物館  
(吹田市千里万博公園 10-1)   
 参加費 : 無料 (ただし、展示観覧券が必要。)  
 定員 : 42 名 (先着順)  
 問合せ : 国立民族学博物館 企画課  
 06-6878-8210

### シンポジウム

4/23 (土)  
15:00-17:00

### 外国人権法連絡会総会記念シンポジウム

### ヘイトクライムからジェノサイドへの途～今こそ人種差別撤廃法の制定を～

- ①基調講演:「人種」的憎悪から大量虐殺へ～ヘイトスピーチ規制の不可避性～  
 ◎金子マーティンさん (日本女子大学名誉教授)
  - ②活動報告:ヘイトクライム対策提言と人種差別撤廃法モデル案を中心に  
 ◎師岡康子
- シンポジウムコーディネーター ◎丹羽雅雄

場所 : オンライン (zoom)  
 参加費 : 無料 (カンパ歓迎)  
 申込・問合せ : 外国人権法連絡会  
 info@gjhr.net

### マーケット

4/24 (日)  
11:00-15:00

### わけわけチャリティマーケット

芝楽広場でチャリティマーケット! まだまだ着れるけど、もう着ない服。捨てずに「わけわけ」しませんか。  
 ほしい服をもらったら、「きもち」をカンパします。  
 あつまったカンパは被災地の活動団体へ送ります。\*雨天中止


場所 : 芝楽広場  
(箕面市萱野 2-11-4)   
 主催 : イーチ合同会社  
 共催 : 一般社団法人 YDP  
 問合せ : 072-720-6335 B-MART

### 講座

4/29 (金・祝)  
-4/30 (土)

### ともにつくるためのリーダーシッププログラム

「コクレオの森」が培ってきた対話についてのエッセンスにふれる講座。  
 「対話」とは? 誰もが納得できる合意の作り方とは?  
 「自分も人も大切に」を体感する自己探究プログラム。  
 ◎合宿: 4/29-30 ◎進捗報告: 5-7 月 2 週間に 1 回 (オンライン) ◎卒業式: 7/30

場所 : 箕面こどもの森学園   
 参加費 : 65,000 円  
 定員 : 15 名  
 申込 : 認定 NPO 法人コクレオの森  
(箕面こどもの森学園)  
 072-735-7676

### 映画祭

4/30 (土)  
-5/6 (金)

### イスラム映画祭 7

日本初上映から、アンコール作品まで、「イスラム」をキーワードに様々な背景を持つ 13 作品を上映。各回主催者による解説あり。  
 ゲストトークも充実。上映作品: 『ミナは歩いてゆく』、(アフガニスタン) 『アジムの母、ロナ』 (アフガニスタン=イラン) など

場所 : 神戸・元町映画館   
 参加費 : 一般 1,500 円 他  
 チケット : 元町映画館 078-366-2636  
 主催 : イスラム映画祭  
 http://islamicff.com/

coupe de Minami

スクール coupe de MINAMI 南プロカッティング研究所

町屋で楽しく洋服をつくってみませんか?



ボディに布を直接  
のせて服をつくって  
みましょう!  
(立体裁断)

南正枝 プロフィール (略歴)

昭和 42~45 年 フランス・パリの洋裁学校にて立体裁断、  
 デザイン等を修得  
 昭和 45~47 年 カネボウ Christian Dior アトリエでデザイナー  
 昭和 47 年以降 大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします! ◆パターンや立体裁断も教えます。◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください!

●問合せ : 〒562-0012 箕面市白鳥 2-2-30 電話 / FAX 072 (721) 4151  
 E-mail info@coupe-de-minami.com URL http://www.coupe-de-minami.com

## めろん編集ボランティアスタッフ 募集中!

「めろん」は箕面市国際交流協会と協会ボランティアが協働し、地域の多様性を高める情報をみなさんにお届けしています。取材に行ったり、記事を書いたり、誌面をいっしょに作るボランティアを募集しています。イベントやセミナーの企画や勉強会なども行います。多文化共生に関心のある方、ぜひご参加ください!! 編集会議の日程などについては、協会までお問合せください。

## めろんの広報にご協力ください!

「めろん」をより多くの方に知ってもらうために、自治会やPTA、同窓会、研修、セミナーや授業など様々な催しで、地域から多文化共生を考えるためのツールとして配ってくださいませんか。置いてくださるお店なども大歓迎! お問合せお待ちしております。

## 編 集 後 記

【おじいさんが もりを あるいていきました。  
こいぬが あとから ついていきました。  
おじいさんは あるいているうちに、てぶくろを かたほう おとして、そのまま いて  
しまいました。すると ねずみが かけてきて、てぶくろに もぐりこんで いました。  
「ここで くらすことにするわ!」】

動物たちがやってきます。ぴよんぴよんがえる、はやあしうさぎ、おしやれぎつね、はいいろ  
おおかみ、きばもちいのしし、のっそりぐま。七匹になり手袋は弾けそうになりました。  
おじいさんは、手袋が片方ないことに気が付き探しに戻ると、雪の上に落ちていました。

【てぶくろは むくむく うごいています。こいぬが「わん、わん、わん」と ほえたてました。  
みんなは びっくりして てぶくろから はいだすと、もりの あちこちへ にげていきました。  
そこへ おじいさんが やってきて てぶくろを ひろいました。】

【】は、ウクライナ民話「てぶくろ」うちだ りせこ訳 福音館書店 からの引用



エウゲーニー・ラチョフの絵によるウクライナ民話「てぶくろ」は、私の好きな絵本の中の一冊である。ラチョフはロシアの画家で、この本で世界的に評価された。豊かな大地で繰り広げられる動物たちの営み、おじいさんの手袋はだれをも受け入れるウクライナの大地の縮図。もう1冊ロシア民話「おおきなかぶ」は、家族や動物が少しずつ集まり皆で力を合わせ、大きなかぶを抜くというお話。今、このウクライナとロシアにゆかりのある両作品が助け合いと共生を描いていると注目が集まり、平和を願う声が続々と上がっていると言う。絵本には学ぶことが多い。何度も読み返すと新しい気づきがあるのが絵本の良いところで、決して子どもだけのものではないと感じている。子どもも大人も、穏やかに二つの国のお話を楽しめる日々がはやく戻ってほしいと思う。(井嶋)

## アクセスマップ



## バス オレンジゆずるバス

- (平日・土曜) 黄ルート「多文化交流センター前」  
または赤ルート「小野原南」から西へ約550m
- (日曜・祝日) 緑ルート「小野原西五丁目」から西へ約200m  
※「多文化交流センター前」には停まりません。

## 阪急バス

出発	バス番号	最寄バス停
千里中央 北千里方面から	30, 55, 56 58, 59, 66	① 小野原 ② 小野原西
	175, 176	③ 小野原南
	70	④ 小野原西5丁目
	70, 78	⑤ 関西学院千里国際キャンパス
阪急石橋から JR茨木方面から	92	① 小野原 ② 小野原西

## 「めろん」編集スタッフ

【ボランティア】井嶋眞佐子、荻野克彦、崔聖子、中島美瑛、西岡夏希、山下三千世、鷺尾則昭  
【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、末原真紀、中村由紀、鳥羽山良平

問合せ：(公財) 箕面市国際交流協会 〒562-0032 箕面市小野原西 5-2-36 多文化交流センター  
Tel : 072-727-6912 Fax : 072-727-6920 E-mail : info@mafga.or.jp

HP : www.mafga.or.jp FB : facebook.com/Mafga みの多言語ポータル : http://portal.mafga.or.jp/